

野洲市資料提供

提 供 年 月 日	令和5年4月20日
担 当 部 課	政策調整部 企画調整課
担 当 者	中江、中野
連絡先電話番号	077-587-6039

令和4年度 野洲市野洲駅南口周辺整備構想検討委員会の結果報告について

1. 開催日時・委員等

日 時:令和5年3月14日(火) 14:00～16:00

場 所:野洲市役所 本館2階 庁議室

委 員:出席12名(欠席1名:荒川委員)

1号委員	学識経験者	2名	立命館大学 理工学部 特命教授 滋賀県立大学 環境科学部 環境建築デザイン学科教授	及川 清昭 白井 宏昌
2号委員	関係団体・ 地域住民を 代表する者	5名	野洲市商工会 自治連合会 野洲市PTA連絡協議会 野洲青年会議所 野洲工業会	荒川 博行 野崎 和弘 原 裕一郎 増田 孝 山本 真嗣
3号委員	行政機関	2名	国土交通省 近畿地方整備局 建政部 都市調整官 滋賀県 土木交通部 交通戦略課長	井上 善之 渡辺 正人
4号委員	公募委員	3名	公募	東郷 恵子 二宮 基子 前田 基良
5号委員	市長が認める者	1名	JR 西日本地域まちづくり本部 交通まちづくり戦略部 沿線まちづくりグループ課長	新開 琢

傍聴者:5名のほか、報道機関1社

2. 議事

(1)委員長・副委員長の選出について

【確認事項】

・委員長に滋賀県立大学 白井 宏昌 教授、副委員長に立命館大学 及川 清昭 特命教授が選出された。

(2)野洲駅南口周辺整備構想の見直しと野洲駅南口周辺整備事業の進め方について

【協議事項】

- ・これまでの経緯、コンセプトと必要な機能及びゾーニング
- ・野洲駅南口周辺整備事業について、官民連携の手法、工程スケジュール等の進め方
- ・野洲市野洲駅南口周辺整備構想検討委員会の今後の予定

【確認事項】

- ・駅前に必要な機能の一つとして掲げられていた病院機能が外れることに異論はなかった。
- ・病院機能が外れても目指すべきにぎわいづくりは変わらないため、これまでのコンセプトを踏襲する。
- ・にぎわい創出には、税収や費用などの視点をもって内容を検討する。
- ・官民連携により事業を進めるため、令和5年度中にパートナーとなる連携事業者を決定する。
- ・令和5年度の野洲市野洲駅南口周辺整備構想検討委員会は4回開催し、連携事業者との基本協定締結までにおいて必要に応じて1～2回開催予定とする。

3. 今後の進め方

- ・多世代の市民ニーズを把握するために、アンケート等の実施を検討する。
- ・次回の野洲市野洲駅南口周辺整備構想検討委員会は5月に開催予定とし、「土地利用条件、市の基本的な考え方について」を議題とする。

(委員会での質疑・応答及び意見等については、次項のとおり)

4. 委員会での質疑・応答及び意見等

< 質疑・応答 >

【委員】現実的に巨大な商業施設は考えられないが、住宅やホテルの可能性はある。それらの機能との整合性についてどう考えるかが重要と思う。

→【事務局】この委員会などの検討を踏まえて、持続可能なにぎわいづくりにつながる具体的な機能を明らかにしていきたいと考えている。

【委員】今回の検討委員会におけるゴールはどのように考えているのか？また、周辺整備によるにぎわいを生み出す場合のターゲットは？

→【事務局】事業を担ってもらう事業者と事業連携協定を締結することがゴールと考えている。ターゲットは基本的に野洲市民と考えている。

【委員】コンセプトは変更せず、必要な機能だけ変更することになっているが、これについてはもう少し丁寧な説明が必要ではないかと思う。

市民のためのにぎわいづくりということであれば、状況の変化等も踏まえ、改めて市民意向を聞くことも必要ではないか。

→【事務局】構想策定までの議論の経過を考えると、病院機能がなくなったとしても目指すべきにぎわいづくりは変わっていないという結論になったため、これまでのコンセプトを踏襲することとした。

【委員】市民の活動拠点としての活用が想定されているが、JR 野洲駅前という立地から考えると、少しもったいない使い方になるのではないか。

→【事務局】市民の活動をメインと考えているが、市外、県外さらにはインバウンドの方々への対応も必要と考えている。

【委員】今後の人口動向等も踏まえ、どのようなにぎわいが必要なのか、また、10 年後にも対応できるコンセプトを考える必要がある。そのためには改めてアンケートなどを行うことも必要ではないか。

→【事務局】にぎわいのあり方については、若い方々の意見も含め、様々な意見を集めることが必要かと思う。

< その他意見等 >

【委員】文化ホールも含め、将来的な動きも加味した駅前の整備であるべきだと思う。役所の縦割りのなところは排除して、連携した取り組みにしてもらいたい。

【委員】構想策定後、8年間に世の中も大きく変わってきているので、駅周辺のあり方そのものについて見直す必要があるのではないか。

【委員】民間事業者へのサウンディングを4月に実施されるということなので、次回の検討委員会で、中間報告でも良いので結果を報告いただきたい。

【委員】市民の意見を聞いてもらえる機会を設けてもらいたい。

【委員】市民利用が中心ということだが、JR利用者のことも想定することが必要。交通結節点として、JR利用者をターゲットとした機能も盛り込むべきではないか。

【委員】着工までの期間、駅前市有地は、駅前整備の機運を高めるようなイベント等で活用してはどうか。

【委員】建物優先ではなく駅周辺の渋滞解消のため余裕のある道路計画を策定いただきたい。

以上